

NOTES

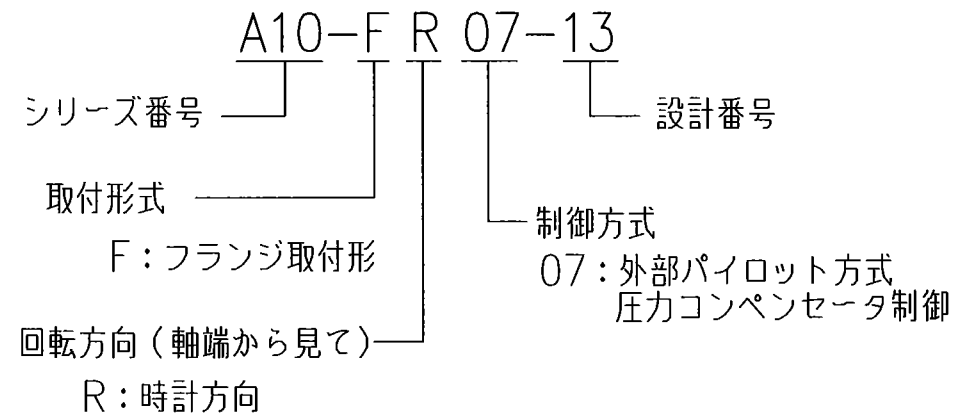
- 吸込みポート、吐出しポートはアキシャルポートが標準です。
サイドポートをご使用の場合は六角穴付テーパねじプラグを
アキシャルポートに付け替えてご使用ください。
- 圧力調整及び流量調整変更後、ロックナットを必ず締付けてください。
(☆1)
締付けトルク：7.5~9.5Nm
- 吸込み"S"、吐出し"P"ポートは下記締付けトルクで締付けて
ください。(☆2)
締付けトルク：65~75Nm
- ドレンポートは下記締付けトルクで締付けてください。(☆3)
締付けトルク：40~50Nm

尺度：1/3 質量：9.5kg

13 D

SIGN	DATE	DRAWN	YUKEN KOGYO CO., LTD.
	19-02-19	荒井	
DATE	APPROVED	CHECKED	MODEL NO.
	寺沢	安田	A10-FR07-13
REVISIONS	三角法 THIRD ANGLE PROJECTION		NAME
			A10形可変ピストンポンプ
SYM	FILE NO.	DWG NO.	外部パイロット方式圧力コンベンセータ制御
	1317H	PA315917-5-0	(1/2)

モデル番号の構成



定格

理論押しのけ容積	10.0 cm ³ /rev
圧力制御範囲	2~21MPa
定格圧力	16 MPa
最高使用圧力	21 MPa
回転速度範囲	600~1800 r/min
最小調整流量	2cm ³ /rev
・調整ねじ1回転当りの流量調整量: 1.06cm ³ /rev	

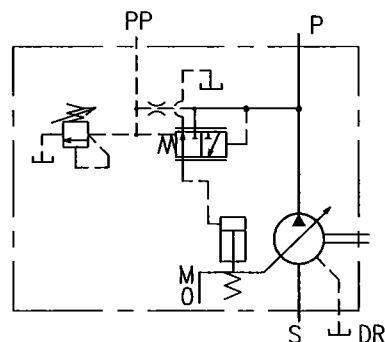
使用油

石油系作動油
推奨粘度グレード ISO VG 32~46

粘度範囲

20~400 mm²/S

油圧図記号



- パイロット配管
パイロット配管は下記により行ってください。
- 配管継手サイズ ----- R1/4
- 配管内径 ----- 6mm以上
- 配管長さ ----- 1m以下

使用上の注意

1. ポンプは注油口の位置が上になるように据付けてください。
軸接続の際はフレキシブルカップリングを使用し、軸には曲げ荷重およびスラスト荷重がかからないようにしてください。(直接歯車やベルトで駆動しないでください。)
なお、駆動軸とのズレが、TIR.0.1mm,角度誤差 0.2°を超えないようにしてください。
2. 吸込み圧力はポンプ入口にて-16.7kPa~+50kPaにしてください。
3. 鋼管配管の場合、配管によりポンプに無理な力が、かからないように注意してください。
4. ドレン配管は下記を目安にして、他の戻りラインと合流せずに単独で行い、端末を必ず油中に入れてください。

配管継手サイズ	-----	R3/8 (内径 φ8.5以上)
配管内径	-----	10以上
配管長さ	-----	1m以下

上記条件を満足しない場合でもハウジング内圧力が定常状態圧力0.1MPa、かつサージ圧力0.5MPa以下になるようにしてください。

5. 作動油の汚染管理には十分注意を払い、汚染度はJIS B 9933 (ISO 4406) 21/19/15 または、NAS10級以内にしてください。なお、吸込みラインには100ミクロン (150メッシュ) のフィルタを、戻りラインには10ミクロン以下のフィルタをご使用ください。
6. ポンプ初期運転前には必ず注油口から作動油をハウジング内に充填してください。
なお、運転開始時には吐出しラインを無負荷にしてポンプを始動し、正常に油を吸込むことを確認してください。
7. 初期あるいは長期運転休止後に運転する場合には、油を吸込みにくいことがありますのであらかじめ吐出し側に空気抜き弁 (モデル番号: ST1004) を設けておくか、吐出し側にて空気抜きを行ってください。
8. ポンプ内部および配管内に空気が混入していると、振動発生の原因になりますので、空気抜きは完全に行ってください。
9. ポンプを油面より上部に設置する場合は、吸込みラインの空気だまりを防止するため吸込み配管およびサクシオンフィルタはポンプより高くしないでください。
なお、吸込み側の配管は適合する管サイズのものを使用し吸込みポートの高さは油面から1m以内にしてください。

SYN	REVISIONS	DATE	DRAWN	YUKEN KOGYO CO., LTD.	
	DATE	APPROVED	CHECKED	MODEL NO.	
三角法 THIRD ANGLE PROJECTION				NAME	
FILE NO.				DWG NO.	
1317H				PA315917-5-0 (2/2)	